

1. 評価期間 令和4年1月11日～1月20日

2. 評価者 5名

3. 評価方法 回答用紙に記入

4. 評価内容

- ・保護者は概ね保育園の運営に対して満足しているとの回答だったが、一部の保護者には、より丁寧な対応と情報提供が必要と感じた。

- ・保護者からの貴重な御意見と温かい言葉は今後の保育の励みだ。

- ・保護者の要望と、コロナ禍で対応し得る園の配慮の間で苦慮している事が伺える。

このような状況下で保護者の要望の内容にも変化しているからであると推察するが、「今求められているから全てに答える」ではなく「今も今後も対応出来る範囲で最大限配慮する」ことが必要と思う。悩ましい時期であるが、園の皆は努力していると思う。

- ・コロナ禍の中、園長、職員の工夫と努力で当園の教育保育が保護者に概ね理解されているものと思った。

- ・情報発信、伝達コミュニケーションの在り方、方法を検討されたい。

- ・発達障害について、保護者はもっと知りたいという方が多い結果だ。保護者としては心配している部分であろうと推察されるので、更なる工夫をして、知識・情報をお届けできるよう努力して頂きたいと思った。

- ・年代、経験年数でとらえ方が違うと思うが、自己評価の内容は的確でわかりやすいと感じた。

- ・保育者である前に一社会人として意識し、自覚して行動するように、当たり前のことまでも指導しなければならぬ保育現場の現状が感じ取れた。

- ・保育者としての資質、能力や保護者への対応に関しては、全員がほぼ理解し、努めているとの回答で、指導が行き届いていると感じた。

- ・コロナ禍での感染症対策や行事等の変更に追われ、日々の保育の振り返りの場や時間が中々取れずにいるのが現状と思うが、職員間で工夫して保育工場に繋がるよう願う。

- ・コロナ禍で日常業務・研修等の制約される中、教職員の皆さまにおいては、各項目共よく理解され評価も高く、今後も継続して研鑽して欲しいと思う。

- ・給食担当者においては、アレルギーや感染症等の事前防止上、未経験者であっても対策を徹底すること。

- ・食育について、職員の自己評価に心配な点があった。家庭との連携とアレルギー関連の項目だ。

大変重要なところだと思うので、家庭との共通理解を図っていくよう今後も力を入れていって欲しい。

- ・総体としては久昌寺保育園が保護者の方々に信頼されて良好に運営されていることが分かった。

- ・自由記載では感謝の言葉があったように園側が思っているより保護者側の評価は高いようなので、さらに良い方向へ持っていければよいのかと思う。

- ・コロナ禍の中、通常の子ども園（保育）機能を果たす為に様々な対応に迫られている状況にありなが

ら、この事業に取り組まれたことについて評価する。

- ・2年連続の評価項目（保護者・教職員用共）で実施したことにより、前年度との相違が容易になり次年度で取り組むべき課題も的確に把握しているように感じた。

- ・毎年のことだが事業評価は継続比較してこそ成果を得ることが出来るものと思う。評価事業は大変だが頑張っていて欲しい。

- ・今の状況では、共稼ぎの家庭にとって子どもを毎日安心して預けることが出来る施設であることは、何よりもありがたいことと思う。重ねて頑張っていて欲しい。

5. 施設関係者評価を受けての総評

令和3年度は教育保育の原点に還り、「子どもが健康で、心豊かに子どもらしく育つ教育保育」を目指して実践してきました。園内研修だけではなく、外部の指導者から助言を定期的に受けながら、子どもについての理解や対応方法、クラス運営について等、試行錯誤しながら行ってきた一年でした。次年度もより良い教育保育の提供が出来るよう、継続し取り組んで参ります。

評価を受けて強く感じましたのは、情報発信不足でした。

園の様子、取り組みについて、知りたいことに対する情報の提供など、皆様の気持ちにお応えできるよう、発信していきます。

また、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るうなか、感染防止対策のため園の生活環境等を変容せざるを得ない状況は今年度も続きました。行事など、感染対策にご協力頂いた上での開催や、やむなく中止したりと、保護者の皆様には引き続きご協力頂き大変感謝しております。

この度はたくさんの貴重な御意見ありがとうございました。何より保護者の皆さまや施設関係者の皆さまから励ましのお言葉を頂戴し、大変嬉しく思います。

今後も地域に根差したより良い認定こども園となっていくよう、努力して参ります。

快く評価に御協力いただき、各関係者様へ感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

教職員用 令和3年度 自己評価 [共通項目]

対象者 29名 対象職種：本部長・園長を除く全職員

回収率 100%

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 未回答

【社会性・一般常識】

1	相手に対して正対し、目をきちんと合わせ、挨拶や会釈等もきちんとできる。	52%	48%			
2	正しい言葉遣いが出来る。	10%	83%	7%		
3	電話が鳴ったら早く出るようにしている。用件は間違いがないようメモなどに残し、確認や伝達を行っている。	48%	43%	3%	3%	3%
4	周囲の人や来客に清潔感を与える応対や身だしなみを実践している。	48%	52%			
5	睡眠や食事を十分にとり、仕事に支障をきたさない規則正しい生活を送っている。	56%	38%	3%	3%	
6	体調不良の時は速やかに通院している。	66%	28%	3%	3%	
7	日常生活で職員として度を越す言動を取っていない。また、セクシャルハラスメントや虐待など職員にあるまじき行為をしていない。	76%	21%	3%		
8	上司の指示を実行し、結果を報告している。	59%	41%			
9	協力体制の重要性を認識し、上司・同僚等とコミュニケーションを図っている。	48%	52%			
10	自分の意見を話すだけではなく、相手の意見を偏見を持たずに聞くようにしている。	66%	34%			
11	分からない場合はその旨を正直に伝え、確認をしている。	62%	38%			
12	掃除などの当番業務を進んで手伝っている。	66%	34%			
13	自分以外の職員の担当業務内容を理解している。	7%	83%	7%	3%	
14	「皆がやっているから」「以前からの慣例だから」という思いにとらわれていない。	28%	69%	3%		
15	社会福祉施設で働く一員としての自覚を持ち行動している。	62%	38%			

【指導力・職員間】

16	職員間において常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	42%	48%	10%		
17	コミュニケーションをよく取り、後輩が安心して相談出来るように心がけている。	45%	52%	3%		
18	困った時は、互いに援助することが出来る。	55%	45%			
19	相手がどのような思いでその言葉を発し、行動をとったか考えることが出来る。	28%	62%	10%		
20	自分の受けた保育・子育てニーズに固執せず、現状に応じて柔軟に対応するように心がけている。	42%	55%	3%		

全体的に「あてはまる」と回答した職員が多く、良い傾向である。昨年度と比較し伸びた点は、自分以外の担当業務内容の理解と電話対応についてであった。正しい言葉遣いや規則正しい生活、早めに受診など、社会人として当たり前の行為が出来ていない点が見られた為、残念であった。
社会人としての意識が向上するよう、指導していく。

教職員用 令和3年度 自己評価 [教育保育・内容項目]

対象者 22名 対象職種：保育教諭・保育士

回収率 100%

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 未回答

【教育・保育目標】

1	園の教育理念や教育目標を理解し、保育者間で共通理解を図っている。	45%	55%		
2	園の教育課程は、幼稚園教育要領を踏まえ園の教育理念・教育目標に基づいて作成されている。	82%	18%		
3	園の教育課程を理解し、それに基づいて指導計画を作成している。	55%	31%	14%	
4	指導計画は乳幼児の発達に即して乳幼児期にふさわしい生活を出来るように具体的に作成している。	55%	31%	14%	

【教育・保育実践】

5	安全で清潔な環境を整え、楽しい雰囲気の中遊ぶことができるように工夫している。	64%	36%		
6	園庭や身の回りの自然物を活用し、季節の変化に応じた環境の構成をしている。	64%	36%		
7	遊びに必要な遊具や用具、素材等を質・数量に配慮して用意している。	45%	55%		
8	異年齢の乳幼児が自然に交流出来るような環境の構成をしている。	32%	59%	9%	
9	自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行い、次の保育に生かしている。	27%	73%		
10	ケガや事故に気をつけ、万が一事故やケガが発生した時には上司に報告している。また、保護者に連絡を取り医師に見てもらうなど適切な処置を行っている。	64%	36%		
11	園内に危険な環境はないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮している。	77%	23%		
12	園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温、湿度に気を配っている。	59%	41%		

【乳幼児の理解】

13	一人ひとりの発達の姿や課題について、見通しを持って理解している。	55%	40%	5%	
14	乳幼児の思いや考えに共感しながら一緒に活動している。また、一人ひとりのありのままの姿を受入れ、その子の良さを認めるように心がけている。	77%	23%		
15	乳幼児が理解しやすいように正しい言葉を使っている。善悪の判断、思いやりなど道徳性を培う上でのモデルになるように心がけている。	45%	55%		
16	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応を行っている。	64%	27%	9%	
17	乳幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解が出来るように心がけている。	55%	45%		

【保育者としての資質と能力】

18	保護者に対し、乳幼児や自分の保育のことを分かりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている。	64%	36%
19	職務上知り得たプライバシーに関する情報など秘密を守っている。	91%	9%
20	締切のある仕事や提出物は締切日をきちんと守っている。	55%	45%
21	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるように努めている。	77%	23%
22	子どものこと、クラスでの出来事などで必要な事は上司に報告、連絡、相談をしている。	73%	27%
23	乳幼児と一緒に生活をつくり出す事を楽しいと感じている。	77%	23%

【保護者への対応】

24	保護者からの相談や要望に耳を傾け、よく話を聞くようにしている。	68%	32%
25	保護者からの依頼や伝言などについてはメモ等をしきちんに対応している。	82%	18%
26	保護者からクレームがあった場合にはまず謙虚にその話を聞き、上司に報告、連絡、相談をしている。	77%	23%

【地域の自然や社会との関わり】

27	地域の人々と挨拶を交わすようにしている。また、地域の自然を理解し保育に活用している。	64%36%
28	幼少連携の必要性と対応について理解している。	36%59%5%
29	子育て支援について関心を持ち、具体的な形や内容について理解しようとしている。	45%55%

【研修と研究】

30	自分の保育について自己課題を持って評価、反省を行っている。	55% 45%
31	自分の保育の在り方や悩みについて他の保育者や上司に相談している。	45% 50% 5%
32	乳幼児の発達について理解を深め、保育に生かすための研修を受け、内容を理解している。	32% 68%
33	保護者への対応に関する研修を受けている。	32% 63% 5%
34	預かり保育について（目的、教育課程との関連、幼児の負担、家庭との連携）理解をしている。	50% 50%
35	アレルギー、自立の遅れ、障がいのある幼児への対応について理解するよう努力している。	77% 23%
36	危機管理の必要性と対応について研修を受け、内容を理解している。	32% 68%

教育保育に関して、環境構成に関する分野については、昨年度より向上した。しかし、昨年度に比べ、実践について自信の無さが見受けられる傾向がある。コロナ禍で研修参加の機会が減ったこと、オンライン研修は講義型のものが殆どである為、交流の場が無い事により、自身の教育保育の振り返りの場を効果的に設けられない点が原因としてあるのではないかと感じた。日々の業務が多岐に渡り、職員間で教育保育について話し合う時間が少なくなっているが、話し合いの場、振り返りの場等を設け、さらに向上していけるよう改善していきたい。

教職員用 令和3年度 自己評価 [食育関連項目]

対象者 4名 対象職種：栄養士・調理員

回収率 100%

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 未回答

【体と食物の関係に関する基礎知識】

1	園における給食の目的を理解している。	25%	75%
2	月齢に応じた食事の量や形態（固さや大きさ等）を理解し、成長を促す事が出来る。	25%	75%
3	体の構造、機能と栄養素の働きを理解している。	25%	75%

【食育の推進】

4	食育の計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向けその基礎を培わなければならないことを理解している。	
5	身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的、多面的に子どもの状態を把握している。	
6	教育・保育にあたる職員や家庭と子どもの状態を伝え合い、より良い食事とる事が出来るように連携を図っている。	
7	好き嫌いの源（発達によって生ずる体調不良に起因する、調理方法、食材、形態、食事量等）を理解している。	
8	食品に含まれている栄養成分や体の中の働きを子どもに知らせ、食材への理解を深めることが出来るように工夫している。	
9	食事に関する園の方針をよく理解している。	
10	旬の食材を知らせ、年中行事と関連付けて食文化に興味を持たせている。また、その意味を理解している。	

【アレルギー】

11	アレルギーに関する園内外の研修への参加や情報収集を行い、知識を高めている。	25%50%25%
12	全職員が把握出来るよう、食物アレルギーを持っている子どもの表を保育室・調理室に貼っている。	75%25%
13	小児科医やアレルギー専門の医師の指導を受け、アレルゲン除去を行っている。	75%25%
14	アレルゲン除去について、保護者と園とで話し合いし、連絡を密にとり、その対応に相違がないようにする重要性を理解している。	50%25%25%
15	保護者による安易な除去により、子どもの成長発達に支障が起きないよう、保護者に説明できる基礎知識を身につけている。	50%25%25%

今年度、給食担当者の入れ替わりがあった事で、「経験していない」「携わっていない」点がいくつかあり、このような回答となった。食育に関して力を入れる年と目標を掲げたものの、日々の調理体制確保に追われ、目標に届かなかったという現状がある。その大きな反省をもとに、令和4年度は体制強化を図った。次年度こそ食育に力を入れていく。

保護者各位

社会福祉法人久昌寺会

久昌寺保育園

園長 海野 朋孝

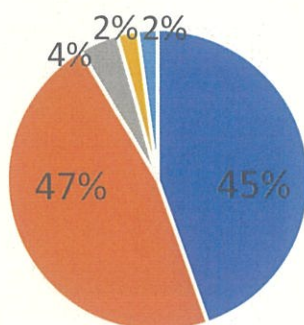
令和3年度 保護者アンケート結果

春暖の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
利用保護者からのアンケート結果についてお知らせいたします。

- 実施期間：令和4年1月11日～令和4年1月20日
- 質問数：16項目（うち1項目は自由記述）
- 園児数119名・世帯数94世帯
- 配布数：94
- 回答数：47 回収率 50%
- 実施方法：匿名

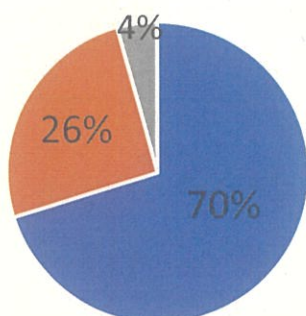
■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■未回答

1 園は教育・保育目標や活動の内容がよくわかるように情報を提供していますか？（入園時の説明など）



コロナ禍の感染症対策に重きを置き、資料での確認が多くなってしまった事は反省点であります。ホームページ等を活用しながら、情報発信に力を入れていきます。

2 お子さんは園に行くのを楽しみにしていますか？

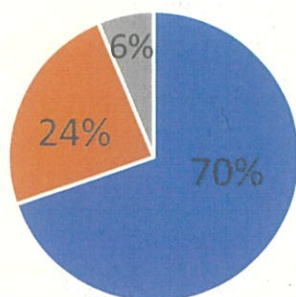


《アンケートより》

担任の先生はもちろんのこと、園にいる先生みんな好きだと子どもが話してます

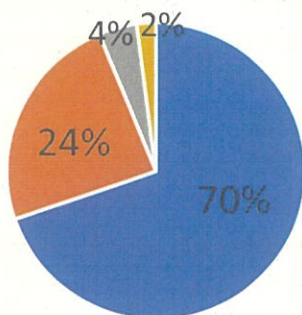
園生活が楽しいと感じられるような関りを今後も続けていきます。

3 職員はあなたのご家庭やお子さんに関するプライバシーを守っていますか？



個人情報同意書に基づき、個人情報の保護に努めております。今度も職員一同、プライバシーの保護に努めていきます。

4 職員は子どもの育ちや子育ての悩みについて相談に応じてくれますか？

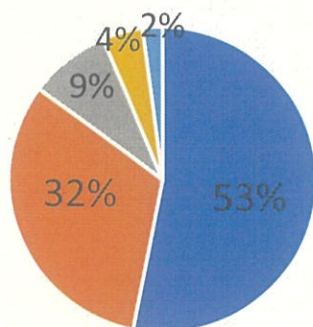


《アンケートより》

本当はもっと先生方と話がしたい。

今年度は懇談会や保護者面談を再開しました。（昨年度は中止）ゆっくりと時間を設け、園生活の様子や、家庭での様子を話し合う事が出来ました。気軽に相談できるような機会を設けられるよう、今後も心がけていきます。

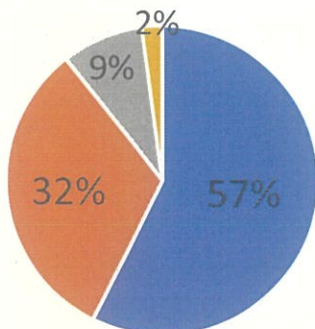
5 園はあなたの意見や要望などにきちんと対応してくれますか？



行事の際、年度末にはアンケートで意見を頂戴しております。また、面談等で要望を伺っております。

気になったことはその都度、直接伝え合えるような関係を築いていきたいと思ひますし、互いに一方通行にならないような関係作りが大切と感じました。

6 園内での感染症発生状況や、感染症の予防や発生時に感染を広げない対策などの情報を保護者に伝えていると感じますか？

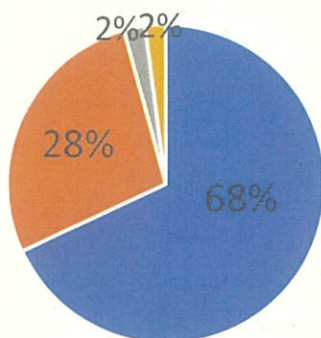


《アンケートより》

どのような病気が流行っているか迅速に把握できるようなものがあるといい。

感染症発生時には玄関の掲示でその都度知らせるようしております。
今後も迅速に対応して参ります。

7 園内での新型コロナウイルス対策や園内の対策に関する情報提供がなされていると感じますか？



《アンケートより》

コロナ対策や毎日の子どもたちの生活を見てくださりありがとうございます。あたたかく接していただき感謝してます。安心して通わせることができるのが嬉しいです。

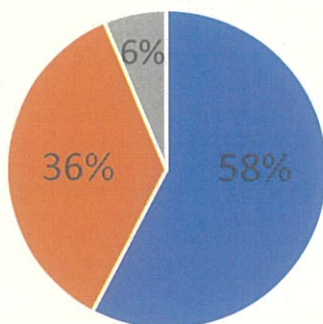
・園内の対応については、変更があった都度、園メールを活用し、知らせるようにした。

玄関対応や、マスクの着用等について、保護者の方へは快く対応頂き感謝しております。

・個々の家庭の状況についても、園の携帯電話を活用し、迅速に連絡をとれる体制をとり、個々に応じた対応を続けております。

今後も、個人情報保護については最新の管理を徹底しながら、必要な情報はいち早く周知して参ります。

8 衛生、清潔等の環境が十分に整えられていますか？



《アンケートより》

・食事後の歯ブラシの実施について対応されない

・子どもがお漏らしをしたとき、汚れ物を水洗いしていただき、ありがたい。衛生的にもありがたい。

・歯ブラシについては、コロナ禍である為、感染症対策を第一に考え見送っております。

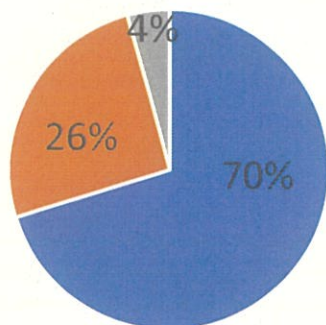
・玩具の消毒は殺菌庫を購入し、使用都度消毒しています。室内の消毒に関しても細目に行うよう徹底しています。

・換気については、CO2 濃度測定器を購入し、全室完備しました。

・市の指導監査からアドバイスがあった、使用後おむつの処理方法について（一つずつビニール袋に入れる）現在対応しております。次年度からは保護者の方にご協力を頂きます。

今後も感染症対策は万全にしていきます。

9 さまざまな物事に興味関心を持つ心を育てていると感じますか？

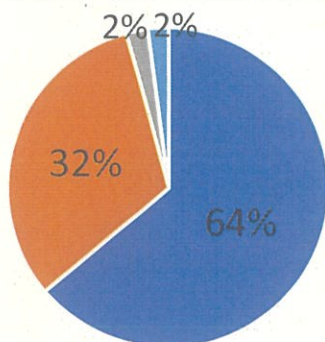


《アンケートより》

ベテランの方から若い先生まで広い年代で子どもたちを保育していただき親では教えられなかったり知らない遊び、学びを知って帰ってくる子どもを見て感謝しています。

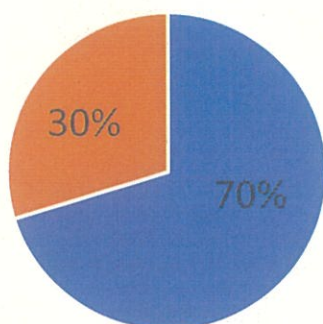
子どもの「なぜ？」「なに？」に耳を傾け、一緒に考え合える場や、子どもの気づきに共感するよう関わっております。そのエピソードが保護者へ伝わるよう、発信していきます。

10 園は遊びや集団生活に必要な決まりを知り、守ろうとする態度を育てていると感じますか？



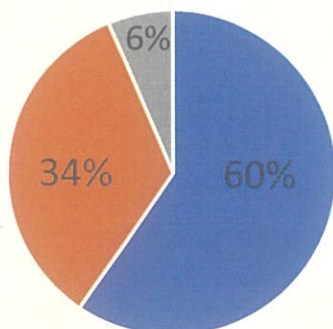
ただ伝えるだけでなく、子どもが自ら考えて行動出来るようになることを目指しております。
必要な機会に、その都度、丁寧に関わることを心がけています。

11 野菜や果物などの栽培物を通して、子ども達の食に関する興味を育てていると思いますか？



農園に各クラス野菜を育て、食育に取り組みました。今年度は久しぶりにクッキングの機会を設けることが出来、子ども達はとても喜んでおりました。（昨年度はコロナ禍で中止）
今後も実体験を大切に食育に力を入れていきます。

12 食に関する相談や、給食やおやつレシピ紹介など家庭での食育の実践につながる取組みをしていると思いますか？

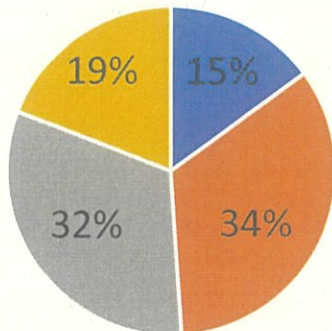


今年度も昨年度同様、情報発信が少なかったように思います。
次年度は様々な方法で家庭との連携が取れるような仕組みを考案していきます。

13 発達障害児に関する適切な情報を伝えていますか？

《アンケートより》

- ・昨年から良い方へ変わった印象はない。
- ・発達障害に関する情報をもっと知りたい。
- ・園ではどのように子どもたちへ話しているのか、家庭でどのように話したら良いのか教えて欲しい。

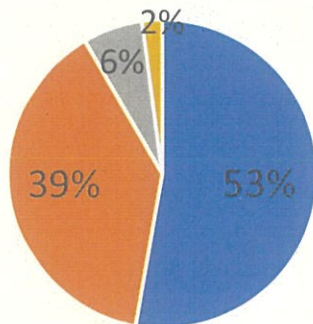


今年度、巡回指導を行い、年 4 回、相談員の先生を招き、職員が子どもの発達や関わりについて学んできました。
また、講演会等、様々な機会を提供する予定が、コロナ禍の対応を重視した為に断念する形となりました。
次年度、計画しておりました。
また、情報を知りたいという要望が多数あり、子育て相談等、個別での申し出を受入れていく方向です。
(今もその体制はあるが、より分かりやすくお知らせします)

14 緊急時の連絡がスムーズに伝わるように工夫されていますか？

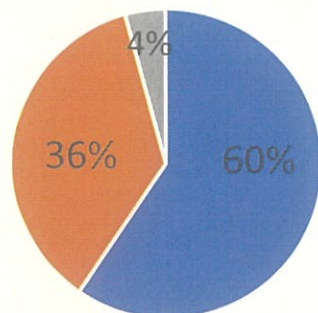
《アンケートより》

- ・園 Renraku システムをもっと活用してほしい。
- ・緊急時以外でもクラスの連絡や持ち物の呼びかけ等でメールを配信してもらえると、欠席している間も準備ができる。



緊急時には園メールを活用して周知しております。
緊急時以外の連絡については、改善していきます。

15 園だよりやクラスだよりを通して園での様子を知る事が出来ていると思いますか？



お便りの配布は今後も続けていきます。
クラスの様子を伝える手段として、園に写真を掲示するようにはしておりましたが、ホームページを活用して、さらに様子が伝わる工夫をして参ります。

16 その他、お気づきの点をご自由にお書きください。

- ・園の皆様のおかげで安心してお願いすることができます。ありがとうございます。
- ・いつも沢山の愛情をありがとうございます。食事や体調、育児の悩みを話すと親身になって聞いてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・親子共々何らの不満はありません。特に給食に関して、子どもはおかわりをして沢山食べているようですし、私も家で食事の参考にさせて頂いて大満足しております。

温かいお言葉、感謝いたします。今後も子ども達にとってより良い園となるよう、職員一同心がけて参ります。

《要望などのご意見》

- ・ホームページの保護者専用ページを活用して日々の子どもの様子を知らせて欲しい。
- ・お誕生会などの様子もブログに載せて欲しい。
- ・ホームページで保護者会の存在が明らかにされていない。

ホームページの活用については、次年度活発な取組になるようにしていきます。

- ・夜勤明けで休みたいのに家庭保育をお願いされて辛かった。
- ・両親の仕事について、玄関などで周囲に人が多い状況で聞いてきてほしくない。尋問のような質問が気になる。

配慮が足りず申し訳ありません。改善していきます。

- ・前回のアンケートにもあったが、布団の持ち帰りの件は改善されたのか。

園のしおりに記載の通りの対応です。週末に布団カバー、タオルケットの洗濯、月末には布団丸ごとの持ち帰りをお願いしております。

- ・水筒の持参は園の改修工事終了までの予定だったが、工事終了後も何の連絡もなく今も水筒を持参し登園している。いつまで持っていけばいいのかわからない。

水筒持参については、新型コロナウイルス感染症対策として再度お願いをしていました。

お手数をおかけしますが、今年度いっぱい、この対応を続けさせていただきます。ご協力よろしくお願いします。

- ・接遇対応の研修や、他園の活動見学など、リモートで情報交換を行ってみてはどうか。

他園との情報交換の機会は、コロナ禍で少なくはなりましたが行っております。

今後も資質向上のための研修等に参加して参ります。

- ・ アンケートの改善点や検討内容は、具体的な内容で保護者に情報提供してほしい。
- ・ 欲を言えば駐車場の目の前に横断歩道があるといいなと思います。

横断歩道については、過去にも何度もかけあってはいるのですが、近くに横断歩道があるという事で、叶わない状態でした。小さい子をお連れになり、大変かと思いますが、日々ご協力頂き、ありがとうございます。
安全を第一に登降園して下さる様、お願い申し上げます。

お忙しい中、たくさんの方にアンケートに御協力いただきまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るうなか、感染防止対策のため園の生活環境等を変容せざるを得ない状況は今年度も続きました。

行事など感染対策にご協力頂いた上での開催や、やむなく中止したりと、保護者の皆様には引き続きご協力頂き大変感謝しております。

今回のアンケートは、回収率が半分であり残念ではありましたが、保護者の皆さまの率直な感想、ご意見を頂戴でき、大変ありがたく存じます。

職員一同、園からの視点だけではなく、保護者の皆さまの視点や園児の視点など、多角的に考え、より良い園になっていくよう今後も努めて参ります。

令和3年3月

園長

海野 朋孝

副園長兼主幹保育教諭 細越 康子